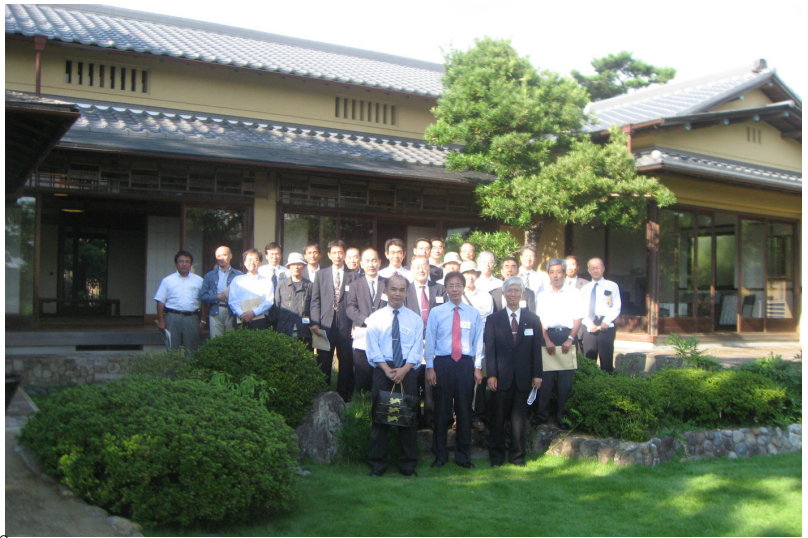


構築会兵庫支部 平成22年度見学会の概要

平成22年度の見学会は、30名の参加のもと10月に開催しました。最初の見学地は、兵庫県立舞子公園内の「武藤山治(むとうさんじ)邸」と「旧木下家住宅」です。武藤山治邸は、鐘紡の中興の祖といわれた武藤山治氏が1907年に舞子海岸に建てた住宅です。明石海峡大橋建設に伴う国道2号の拡幅工事のために一時別の場所に移築されていましたが、明治期の貴重な西洋館を恒久的に保存・継承し広く公開することを目的に、建物ゆかりの地である舞子公園への移築が進められていたものです。木造2階建てコロニアル様式の洋風建築で、大きく張り出したバルコニーが印象的でした。旧木下家住宅は、阪神・淡路大震災以降、姿を消しつつある阪神間の和風住宅の中で、創建時の屋敷構えをほぼ完全に残す貴重な建物として、国の登録有形文化財に登録されています。



武藤山治邸の移築により、舞子公園に和・洋・中の歴史的建築物(和…旧木下家住宅、洋…武藤山治邸、中…孫文記念館(移情閣))が揃うことになります。武藤山治邸の2階バルコニーからの明石海峡や大橋の眺望は素晴らしくお勧めです。11月7日から一般公開されていますので、是非お立ち寄りください。

次は、ポートアイランド第2期への移転に向けて新築工事が進む「神戸市立医療センター中央市民病院」を訪れました。神戸市の基幹病院として市民の生命と健康を守るため、患者中心の質の高い医療を安全に提供することを基本理念に、平成22年度中の完成を目標に建設が進められています。

地上9階地下1階の免震構造で、700床の病床を持つことになるそうです。PFI方式により設計、施工及び運営が一体的に行われます。プロジェクトマネージャー(兵庫支部役員)からの説明と質疑応答の後、工事中の病院内部を見学しました。天井裏の配線配管の多さに驚きながら施設内を廻り、4床のベッドが各々窓に面するようレイアウトされた病室、大規模な手術室、コーヒーショップやコンビニエンスストアもあるロビーなどを見させていただきました。



見学会終了後の懇親会は、JR元町駅付近の洋風居酒屋に場所を変えて、10月としては少し暑かった当日の行動の疲れを癒しながら、楽しく賑やかに懇談しました。